

子どもの心♥️応援する政治を真ん中に



見つけよう！「桜川の あそび」
遊んで学ぼう たくましく



自由な遊び＝心の栄養 → たくましく学ぶ子

♪友達と遊ぶ 家族と遊ぶ 先生と遊ぶ みんなと遊ぶ・・・

♪運動場で 原っぱで 山で 林で 田んぼの畔（あぜ）で・・・

♪時には図書館、体育館。神社もお寺も美しい。街角めぐりも楽しいね。

失われつつある貴重な遊びを子どもたちの手に返す

子どもたちの幸せは市民みんなの幸せ！ → 桜川を愛する心

透明で健全な財政運営を

—限られた私たちの税金は、確かな見通しをもって、必要な所に確実に配分する—

このことを抜きに、市の財政状況を論じることはできません。

市民にとって必要な身の回りの課題を放置し、そこにお金をかけなければ、財政指数が良く見えるのは当たり前です。市民へのサービスをおろそかにして財政指標を語るのは筋違いです。

皆さんは今の桜川に豊かさを感じていますか？ 市の財政は健全と言えるでしょうか？

桜川市議会の現状——市議会の重要な使命を果たさない議会——

議会の一番の使命は、市政が曲がった方向にいかないよう、また、市政に無駄遣いがないようチェックをすることです。しかし、残念ながら、今の桜川市では、市政をチェックするという議会のこの機能が完全に失われています。「これもやります、あれもやります。みんなうまく行ってます。」というまやかしが幅を利かせ、市長が失敗と無駄遣いの現実を隠しているのに、議会多数派が市長と一体化し、これを明らかにすることを怠っている。それが今の桜川市議会です。

たとえば サンヨーホームも既に撤退し、大和駅北開発の頓挫が今や確定的なのに・・・

病院関係費を除き、この地域には既に35億円もの市のお金が投じられています。しかし、成果は全くありません。商業施設が来るからと、立ち退き補償費をもらう約束で家を建てたのに、それがずっともらえない方が何人かいました。さらに、現実を無視した二つの団地の建設計画も、進展の見込みが全くないのに、市長は今も「うまくいっている。」と市民を欺き続けています。また、そうした状況にあることを知る議会も、事態の打開を主張する議員を議会の片隅に追いやり、何の対応も取ろうとしません。

このままでは、私たちの税金が際限なくここにつぎ込まれ、これに群がる一部の業者のみが潤うという状況が続いていくこととなります。市民の皆さんはこれを許されますか？

また、唐突に設けられた加波山市場も、社長の報酬は月65万円と、利益と全く見合っておりません。

たとえば 市の上水道は老朽化が激しく、困っている方も増えています

送っている水の4割が途中で漏れ出てしまっているため、桜川市の水道料金は県内で一番高くなっています。しかし市はその現実を放置し、議会もこれを問題にしません。

たとえば お年寄りにとって本当に必要なこととは？！

検討不十分な中、導入された市内循環バスのヤマザクラGOミニ。

私は、例えばデマンドタクシーの方をもう一工夫して利便性を高めるべきではないかと考えます。カスミの移動スーパーも、市がお金を出して、お年寄りが玄関先で買い物ができるよう、希望するお宅を回ってもらえるようにすべきと考えます。

